令和３年度保健師職能集会プログラム

メインテーマ：それぞれの立場で地域包括ケアシステムの構築に向けた取組を推進する～ACP を地域へ～

ねらい：　自らが望む人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い共有する取組(Advance Care Planning :ACP)は、日々の暮らしの中で誰もが日常的に話し合える環境づくりを進めることが重要とされており、今後、地域課題の一つになると思われます。

　そこで､住民の意思決定支援を通じた地域包括ケア構築における保健師の役割について考えたいと思います。

日　時：令和３年６月 16 日（水）　13:30～16:00

会　場：新潟グランドホテル　５階　常盤の間

＜内容及び日程＞

13:00　受付

13:30　開会

あいさつ

令和２年度事業報告及び令和３年度活動計画　　職能委員長　星野明子

14:00　講演

演題　『地域包括ケア構築における保健師の取組
～市民の心づもり支援を通じて～』

講師　岩手県北上市役所保健福祉部長寿介護課包括支援係
主任保健師　住吉香奈子　氏

【講師紹介】

平成 17 年に岩手県北上市役所入庁。健康増進課母子保健等を担当する傍ら地区担当として地区保健活動に取組む。H28 年度長寿介護課配属となり地域包括ケア構築に関わる地域支援事業のうち、在宅医療介護連携推進事業担当を経て、現在は介護予防事業と高齢者のケア選択支援の関連事業に取り組む。

市民が病気や老い、障がいとともに過ごす時期が来ても、自分らしく暮らしていくために必要な心づもりや話し合いをしていきやすい環境を作っていくことを目的として、市民の声や医療・介護・福祉の現場の関係者からの“意思決定に関する課題”を吸い上げ、必要とされているしくみづくりや学びの場の提供を行っている。

15:30　グループワーク・発表

16:00　閉会

〈参加費〉会員：無料　　非会員：1,000 円